

研究課題名	ヘバーデン結節と粘液囊腫に対する両側アプローチによる末節骨骨棘部分切除術の治療成績に関する観察研究
試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	ヘバーデン結節は、指の変形だけでなく日々の生活に支障をきたす痛み（疼痛）を伴うことが多く、また併発する粘液囊腫（ミューカスシスト）は爪の変形を引き起こす原因ともなります。これらに対する外科的治療法にはさまざまなものがあります。近年では、変形した骨（骨棘）や関節を包む膜（関節包）を切除する手術が標準的な術式として確立されており、良好な成績が報告されています。しかしながら、この術式は指の背側にある組織を広範囲に扱う必要があるため、手術による身体への負担（侵襲）が比較的大きく、術後の合併症が生じるリスクも完全には否定できません。そこで私たちは、より負担の少ない（低侵襲な）治療法を考案し、実践してまいりました。本研究は、この新しい治療法を受けられた患者様の術前・術後の経過を詳細に解析し、痛みや爪の変形がどのように改善したかを明らかにすることで、今後のヘバーデン結節および粘液囊腫に対する最適な治療法を選択するための重要な指針を得ることを目的としています。
研究対象者	2013年9月から2023年6月までに、ベルランド総合病院総合整形外科でヘバーデン結節の徐痛と粘液囊腫の根治を目的に末節骨骨棘部分切除術を受けられた方
利用又は提供する試料・情報の項目	診療の過程で得られた下記の項目を、本研究に使用させてください 診療情報：生年月、性別、手術日、術前と術後の単純 X 線像（レントゲン） 電話調査によって得られた下記の項目を、本研究に使用させてください 調査項目：疼痛の状態、粘液囊腫の再発の有無、爪の変形の状態、指の可動域の状態
研究予定期間	機関の長の実施許可日～2027年12月31日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程と電話調査で得られます
試料・情報を利用する者の範囲	この研究はベルランド総合病院 総合整形外科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又は機関の名称	ベルランド総合病院 院長 片岡 亨
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 総合整形外科 ハンドセンター 氏名：蒲生和重 メールアドレス：k_gamo@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）